

TAMAZON

異常事態!?タマゾン川の怪魚を調査せよ!

日本全国で猛威を奮う外来生物たち。私たちの住むすぐそばでも、アライグマやブラックバスなど、たくさんの外来生物が確認されています。

また、全国的に有名な多摩川でも、異常な事態が起こっているのです。

ブラックバスだけでなく、ガーパイクやアロワナなどが捕まえられ、いまではタマゾン川などと呼ばれてしまうほどの状態となっていました。今回はタマゾン川で未知の怪魚の調査を体験し、実際にワナや網を使って捕まえてみましょう！もしかするととんでもない怪物が捕らえられるかもしれません…。



Arowana



Black bass



Gar pike

■プログラムについて■

身近な川の現状を調べ、外来生物が日本の環境に与える問題点を学習するプログラムです。今回は1日完結ですが、全国的にも有名な専門家のサポートによって、宿泊プログラムにも劣らない充実した活動ができます。

日 程：7月30日（月）

場 所：多摩川中流域（稲田堤周辺）

対 象：小2～中学生

参加費用：内部生：9,000円（税別）

外部生：10,000円（税別）

■キャンセル規定■

出発の1週間前～前日まで 30%

当日キャンセル 100%

集 合：センター南教室 8：40

東急あざみ野駅改札 8：50

解散予定：青葉台駅改札 15：00

センター南駅改札 15：15

（解散は教室ではありません。）

募集人数：30名

応募締切：7月21日（土）

特別講師：NPO法人おさかなポストの会代表

自然環境コンサルタント 山崎充哲氏

神奈川県川崎市生まれ。外来種問題が深刻な多摩川で、NPO法人おさかなポストの会を創設し、飼い主に捨てられた魚を保護する活動を行っている。「川を知ることが川をよくすること」との思いから、子どもを対象にした川遊び教室、環境紙芝居、移動水族館なども実施。夏は投網を打ってアユ漁も行う。多摩川で唯一の川漁師でもある。

著書に『いのちの川』（幻冬舎）、『タマゾン川～多摩川でいのちを考える～』（旬報社）。

TBS『どうぶつ奇想天外！』などテレビにも多数出演。